

令和7年度 学力・体力向上プラン

学校名 中央区立明正小学校

1 課題

【4月】令和6年度学力向上プランの検証結果、学校評価の結果等によって明らかになった課題 【10月】令和7年度学習力サポートテスト、体力テストの結果等によって明らかになった課題	
児童・生徒の学力の課題	
国語	<p>【4月】</p> <p>「令和6年度学習力サポートテスト」において、4年生は、全国平均を+4ポイント、5年生+15.7ポイント、6年生は+3.9ポイントとどの学年も上回っている。</p> <p>問題の内容別で見ると、5年生は物語の内容を読み取りで正答率がやや弱い。4年生は文章を書く問題、6年生は、物語や説明文の内容を読み取り問題で正答率が低い。</p> <p>【10月】</p>
算数	<p>【4月】</p> <p>「令和6年度学習力サポートテスト」において、全国平均と比べて、4年生が+7.2ポイント、5年生が+14.7ポイント、6年生が+6と、どの学年も全国平均平均、目標値のいずれにおいても上回った。</p> <p>記述式の問題での正答率は比較的低く、思考・判断力を苦手とする児童がみられる。</p> <p>【10月】</p>
社会	<p>【4月】</p> <p>「令和6年度学習力サポートテスト」において、実施学年全て教科の正答率が目標値を達成しており、全国平均と比べても4年生は+8.3ポイント、5年生は+14.3ポイント、6年生は+3.1だった。</p> <p>領域別では、4年生は「地域」の「地図記号」の問題、5年生は「自然災害」の問題で正答率が低い。6年生はどの領域でも、目標値以下の問題が1～2問程度あり、思考・判断・表現を問う問題で正答率が低い。</p> <p>【10月】</p>
理科	<p>【4月】</p> <p>「令和6年度学習力サポートテスト」において、全国平均と比べて、4年生は+5.4ポイント、5年生は+7.8ポイントと上回ったが、6年生は-0.2ポイントと平均と同程度であった。</p> <p>問題別の正答率では、4年生は、「植物の育ち方」、5年生は、「月と星」、6年生は「電流の働き」と「顕微鏡の使い方」に課題がみられた。全学年を共通して、説明推論など活用が求められる問題を苦手とする児童がみられる。</p> <p>【10月】</p>

英 語	<p>【4月】</p> <p>「令和6年度学力サポートテスト」において、全国平均+0.2ポイントと、ほぼ同程度であり、目標値を+4ポイント上回っていた。しかし、領域「書くこと」が全国平均を下回り、英単語の転記、簡単な語句や基本的な表現を用いた英文法の正答率は平均を下回った。知識・技能の定着に個人差が見られた</p> <p>授業でも意欲に個人差があり、全体の前で英語を話すことに消極的な児童がみられる。</p> <p>【10月】</p>
体力向上	<p>【4月】</p> <p>「令和6年度東京都統一体力テスト」の結果において、4年生の男子は「立ち幅跳び」「上体起こし」、女子は「握力」「上体起こし」「立ち幅跳び」の結果、筋力、筋持久力、筋パワー等に課題がある。</p> <p>5年生の男子は「握力」、女子は「ソフトボール投げ」の柔軟性、敏捷性、筋パワー、投力に、男女共通で「長座体前屈」「反復横跳び」、課題がある。</p> <p>6年生の男子は「立ち幅跳び」、女子は「反復横跳び」、男女ともに「上体起こし」の結果が低く、筋パワー、筋持久力、敏捷性に課題がある。</p> <p>【10月】</p>

2 年度末までの目標及び指標、具体的な取組

	年度末までの目標及び指標	具体的な取組
国 語	<p>【4月】</p> <p>「令和7年度学力サポートテスト」の全ての実施学年で参加校平均点を上回るようにする。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の教科書の題材と関連した平行読書を行い、読書の時間を増やす。 ・文章を読んで想像したり、叙述を元に登場人物の心情を捉えさせたりする活動を丁寧に行う。
算 数	<p>【4月】</p> <p>「令和7年度学力サポートテスト」の全ての実施学年で参加校平均点を上回るようにする。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自力解決の際、ノートに自分の考えをしっかりと書く。その後、ペアやグループで考えを説明したり、確認したりして、自分の解法を振り返る。 ・単元指導後も、明正タイムや宿題等を活用して習熟の時間を充分にとる。
社 会	<p>【4月】</p> <p>「令和7年度学力サポートテスト」の全ての実施学年で参加校平均点を上回るようにする。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を展開し、単元指導計画を明確にして指導を行う。また、可能な限り、単元内で学んだことを日常生活に生かす学習活動を取り入れる。 ・1つの資料（写真や図、表）を丁寧に読み取り、複数の資料を比較・関連付けして考える活動を行う。
理 科	<p>【4月】</p> <p>「令和7年度学力サポートテスト」の全ての実施学年で参加校平均点を上回るようにする。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然現象を観察する際の視点を明確にするとともに、映像や図鑑を活用し、知識・理解を深められるようにする。 ・問題解決の思考過程に沿って、「予測」「方法立案」「考察」し、それらを表現、及び練り上げる時間を確保する。

英 語	<p>【4月】 「令和7年度学力サポートテスト」の全ての実施学年で参加校平均点を上回るようにする。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の学習の流れをパターン化したり、行動計画を掲示して授業の流れを示したりして、活動の見通しを持たせることで、意欲を喚起する。 ・様々なゲームやコミュニケーション活動を行い、楽しみながら英語を使えるように活動を計画する。また、可能な限り、单元内で、学習した英単語や表現を「書く」活動を意図的・計画的・系統的に取り入れる。
体力向上	<p>【4月】 「令和7年度学力サポートテスト」における種目「握力」「20mシャトルラン」「握力」「ソフトボール投げ」において、全ての実施学年で参加校平均点を上回るようにする。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、なわとびやペースランニングに取り組み、児童の巧緻性や持久力の向上を図る。自分の目標やめあてをもって、粘り強く取り組めるよう体育朝会や授業で働きかける。 ・休み時間でも行える握力・等力の向上につながる活動（紙鉄砲やメンコのような遊び）を紹介する。

個別最適な学びと協働的な学びの充実	
取組	<ul style="list-style-type: none"> ・教科担任制の充実を図り、多面的な指導並びに支援を行う。 ・課題解決型の授業を継続し、子どもが自主的に自分のスピードで進める学習形態帯や、問題解決していく場面を多く取り入れていく。 ・「思考・判断・表現」については、特に本校の児童の課題とされている表現する力についても研究等と絡めて、取り組んでいく

探究的な学びの充実	
取組	<ul style="list-style-type: none"> ・研究として、総合的な学習・生活科に取り組む。本校の特色の一つである地域との連携・地域を生かした教科等横断的・探究的な学習の計画、授業作りを行い、地域に愛され、支えられながら明正小学校があることを児童が改めて考え、自ら地域社会に参画しようとする思いをもたせる授業展開を考えていく。 ・実技研修やOJTを通して、全校で一貫した指導ができるように取り組む。また、校内でお互いに気軽に授業を見合えるよう自己申告期間を活用した授業公開を行う。

読解力の育成	
取組	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が図書に触れる機会を増やすため、これまで同様の取組とともに、 <ol style="list-style-type: none"> ①学級文庫の充実 ②年2回読書週間を実施 ③図書館司書によるブックトークをなどを実施する。 ・日頃の学習活動の中で、図書を利用した学習を取り入れる。 ・読書を通し、思考力や想像力を育成する。 ・国語をはじめとした各教科において、読み解く力、自分の考えを表現する力を育成する。